

令和6年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立みさか小学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.7%					○
算数	63.4%		○			

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	64.4%					○
情報の扱い方に関する事項	86.9%	○				
我が国の言語文化に関する事項	74.6%					○
話すこと・聞くこと	59.8%					○
書くこと	68.4%					○
読むこと	70.7%					○

【考 察】

- 「書くこと」、「読むこと」の領域では、事実と意見とを区別して書く問題や、登場人物の関係や心情などについて捉えることについての問題の正答率が、全国平均を上回りました。条件に合わせて文章を書く活動や、説明文や物語文の読み取り方を生かして考えを話し合う指導が成果につながったと思われます。
- 「情報の扱い方」の領域では、情報と情報との関連付けや、図などから読み取ったことを説明する問題の正答率が、全国平均を下回りました。今後は、複数の情報から必要な情報を選んだり、情報を整理したりする活動を通して、判断したり表現したりする力を高められるように指導していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	66.0%	○				
図 形	66.3%	○				
変化と関係	51.7%	○				
データの活用	61.8%					○

【考 察】

- 「データの活用」の領域では、表を読み取り、必要なデータを取り出して整理する問題の正答率が全国平均を大きく上回りました。日常の具体的な場面と関連づけて理解させるとともに、理解したことを友達に説明する活動を取り入れてきたことが力につながったと考えられます。
- 「数と計算」の領域では、わり算のわる数が小数である場合の計算の問題で正答率が全国平均を下回りました。今後は、分かったことを式や言葉、図などを用いて説明することで、計算の意味を正しく理解できるような指導を大切にしていきます。

## 令和6年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立みさか小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	30.3	50.4	16.2	3.1
6	みさか小	28.0	58.0	12.0	0.0

(単位 %)

### 【考 察】

- 「できている」「どちらかといえばできている」を合わせた回答の割合が全国平均を上回っており、自主的に工夫して学習する態度が身に付いていることが分かります。「自己マネジメント力」を育てるために、「生活ノート」に自主学習の計画・内容欄と自己評価欄を設け取り組んでいます。自分で計画を立てて学習できる児童が多いですが、より効果的な「生活ノート」の活用について改善を図れるように努めていきます。
- 担任以外の教師や地域の人材を活用したり、タブレットを活用して自分で工夫して調べたりできる環境をより一層整えていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	11.0	12.5	31.1	27.0	13.0	5.3
6	みさか小	0.0	10.0	36.0	38.0	12.0	2.0

(単位 %)

### 【考 察】

- 6年生の家庭学習の目安を70分以上(10分×学年+10分)としていますが、1時間未満の児童の割合が50%以上と多くなっています。児童の興味・関心が高まるような動機付けや個に応じた宿題や課題などの工夫をしていきます。
- 中学校進学に向けて、さらに家庭学習の充実を図ることが必要です。今後は、今の自分に必要な学習は何かを考えさせる時間を確保したり、より良い取り組みのノートを紹介したりするなどして、意欲的に自主学習に取り組めるように働きかけていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	31.9	48.9	16.0	3.1
6	みさか小	26.0	56.0	18.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた回答の割合がほぼ全国平均となっています。自主学習において、単元ごとのテストやプリントなどを活用して復習に取り組むように指導してきたことにより、できなかった問題を繰り返し解いたり、類似問題を作成して問題を解いたりする児童が増えてきています。
- 単元の始めに、レディネステストを実施することで、児童が前単元とのつながりを感じられるようにしたり、児童がどこにつまずきがあるのかを把握できるようにしたりするよう努めます。

4 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない	学級の友達との間で話し 合う活動を行っていない
小	全 国	41.4	44.9	10.5	2.3	0.8
6	みさか小	40.0	54.0	6.0	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた回答の割合が全国平均を上回っており、授業において、集団としての学びを深めていると感じている児童が多いことが分かります。学び合いを重視して授業改善に努めてきた成果だと考えられます。
- 今後も全員が授業に参加できるように、表現方法を選択させたり、児童の気付きや考えを積極的に取り上げたりするなどして、児童が集団で学ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。